



下呂温泉 水明館 の全景

- 本社所在地：岐阜県下呂市幸田1268
- 事業概要：宿泊業（「日本文化体験型温泉リゾート旅館」の運営）
- 常時使用する従業員：320名
(2026年3月時点)
- 現在の売上高：47億円
(2025年2月期)
- 法人番号：4200001025815
- Web：http://www.suimeikan.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
瀧 康洋

日本の温泉文化で心をほどこき、人生を豊かにする。

「水明館は創業以来、下呂温泉の伝統を守りつつ革新を続けてきました。創業百年を目前にひかえ、私たちが目指す売上高100億円は、単なる規模の拡大ではなく、日本を代表する温泉旅館ブランドとしての地位を確立し、持続可能な地域社会を次世代へ引き継ぐための決意の形です。高付加価値な宿泊体験の提供とDXによる生産性向上を両立させ、宿泊業を若者が憧れる『成長産業』へとアップデートします。下呂の豊かな文化と自然を世界へ発信し、地域経済を力強く牽引することを宣言します。」

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2032年に売上高100億円を達成し、「日本文化体験型温泉リゾート旅館」を実現します。高付加価値ブランドの確立による客単価の向上に加え、国内外の富裕層市場の獲得、地域と連携した観光価値の向上を推進します。また、既存事業のブラッシュアップだけでなく、M&Aによる多拠点展開や新規事業の拡大により、階段状の成長曲線を描きます。

課題

- 高付加価値化の追求：富裕層・インバウンド客の多様なニーズに応える接客力・おもてなしの更なる強化。
- 体験価値の創出：旅館滞在を「文化体験」へと進化させるプログラムの不足解消。
- 人材不足と生産性：伝統的な業務のDX化による効率改善と、多拠点展開を担う経営人材の育成。
- 施設・サービスの拡充：インバウンドや富裕層の長期滞在を促進する施設インフラの整備。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ブランドの確立と単価戦略：既存施設の客室スイート化やリブランディングを行い、旅館の規模を生かし、高単価なビジネススタイルと同時に、従来の温泉旅の日本文化を守り、団体客やリピーターの受け入れを継続して行う。
- 文化・食の体験強化：茶道・着物体験や伝統芸能の提供に加え、料理長のブランド化や地元食材の活用で「滞在価値」を最大化します。
- インバウンド富裕層戦略：海外SNS活用や多言語対応の高度化により、欧米・アジアのラグジュアリー層を獲得します。
- DX・IT投資の徹底：AI需要予測によるレベニューマネジメントや、自動チェックイン機の導入による生産性向上を図ります。
- M&A・事業拡大：近隣地域の優良旅館の承継・再生や、セントラルキッチンを活用した外販事業の強化を検討します。

実施体制

- 「未来創造プロジェクト」の設置：社長直轄の横断型チームを構築し、若手・中堅社員が新規事業を企画・推進する体制を整えます。
- 部門別役割の明確化：営業部（富裕層開拓）、宿泊部（品質向上）、企画・DX部門（体験プログラム・データ活用）の連携を強化します。
- 外部・地域連携：行政や地元金融機関との伴走型支援体制を構築し、大規模投資やM&Aのための資金調達・情報収集を円滑にします。

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです